

校長室より

令和5年3月22日(水)

「修了式を前に」



先日の卒業式は厳肅な雰囲気の中、とても感動的でした。改めて、6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業式を終えて約1週間。やはり、学校の大黒柱がないというのは寂しさを感じます。でも、5年生をはじめとする在校生のみなさんは4月からの新しいスタートに向けてワクワクしている人も多いでしょう。そこで、みなさんに、これからの成長を助けてくれる2つのヒントを提案します。それは、私が卒業式の「はなむけの言葉」の中で伝えた「思いやり」と「挑戦」です。簡単に言うと、人には優しく自分には厳しくということでしょうか。これがなかなか難しく、私自身も全然できていません。でも、そういう気持ちはいつも持ち続けたいと思っています。

さあ、令和4年度もあとわずかとなりました。長畝小学校では、学期ごとに目標を決めて学校全体で取り組んできましたね。

1学期は「あいさつ」。あいさつが飛び交う学校になってきたおかげで、学校全体が明るく、活気あるものに生まれ変わりました。みなさん、本当によくがんばりましたね。ありがとうございました。令和5年度はさらにパワーアップし、「あいさつ」はもちろん、「返事」や「言葉遣い」にも力を注いでください。

2学期は「一生懸命」。学習はもちろん、大きな学校行事においても一生懸命がんばってくれました。私は、勉強がよくできるとか、学校行事が大成功を収めるという結果よりも、それまでの間、みなさんがどれだけ一生懸命がんばったかを見ています。みなさんは、たとえうまくいなくてもあきらめずにがんばってくれましたね。ありがとうございました。

3学期は「感謝」。いろいろな場面で「ありがとう」という言葉を聞いたり、「ありがとう」という文字を見たりするたびに、これまでお世話になった人たちへの感謝の気持ちがよく育っているなど感心しました。人として感謝の気持ちを決して忘れることなく、これからもがんばってください。本当にありがとうございました。

